

様式（評価機構フォーマット版）

# 令和4年度 自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

令和4年10月1日

愛国学園保育専門学校

# 目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援.....	27
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	4	5-16 就職等進路.....	28
1-1 理念・目的・育成人材像.....	5	5-17 中途退学への対応.....	29
基準2 学校運営.....	7	5-18 学生相談.....	30
2-2 運営方針.....	8	5-19 学生生活.....	31
2-3 事業計画.....	9	5-20 保護者との連携.....	33
2-4 運営組織.....	10	5-21 卒業生・社会人.....	34
2-5 人事・給与制度.....	11	基準6 教育環境.....	35
2-6 意思決定システム.....	12	6-22 施設・設備等.....	36
2-7 情報システム.....	13	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	37
基準3 教育活動.....	14	6-24 防災・安全管理.....	38
3-8 目標の設定.....	15	基準7 学生の募集と受入れ.....	39
3-9 教育方法・評価等.....	17	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	40
3-10 成績評価・単位認定等.....	19	7-26 入学選考.....	41
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	20	7-27 学納金.....	42
3-12 教員・教員組織.....	21	基準8 財務.....	43
基準4 学修成果.....	23	8-28 財務基盤.....	44
4-13 就職率.....	24	8-29 予算・収支計画.....	45
4-14 資格・免許の取得率.....	25	8-30 監査.....	46
4-15 卒業生の社会的評価.....	26	8-31 財務情報の公開.....	47

<b>基準 9 法令等の遵守</b> .....	<b>48</b>
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	49
9-33 個人情報保護.....	50
9-34 学校評価.....	51
9-35 教育情報の公開.....	52
<b>基準 10 社会貢献・地域貢献</b> .....	<b>53</b>
10-36 社会貢献・地域貢献.....	54
10-37 ボランティア活動.....	55

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和4年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>・教育理念 本校は学校法人愛国学園の創立目的である建学精神の下、「親切正直」を校訓とし、職業人として必要な知識・技術を有し、もって地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>・教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「親切正直」を基盤に、人びとを尊重し調和のとれた豊かな人間性を養う。</li> <li>2 健康と生活の質の向上に取り組む能力を養う。</li> <li>3 専門職として基本的な知識・技術・態度を育み、連携協働できる能力を養う。</li> <li>4 広い視野で社会のニーズを捉え、生涯を通じて自己の資質の向上に努める姿勢を養う。</li> <li>5 深い学びとなるアクティブ・ラーニングを取り入れ学ぼうとする姿勢を養うことに重点を置く。</li> </ol>	<p>1 教育、研究における事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 幼児教育科</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の学びの意欲、柔軟な思考を持って自ら考え実行するための資質や能力を育成する。</li> <li>・教育実践ゼミの充実を図り、幼児の豊かな活動を引き出させるような人間性を育むと同時に保育者としての資質能力の向上を図る。</li> <li>・実習事前事後指導授業の内容を充実させ、実習に対する不安を軽減させる。</li> <li>・実習記録や指導案の作成に向けて、具体的事実や考察内容等、どのように書けばよいか個別指導の充実を図る。</li> <li>・就職試験や採用後直ちに必要とされるピアノの実践力を高めるための個別指導を更に充実させる。</li> <li>・改正した教育課程に合致した授業を展開し、教育の充実を図るとともに学生個々の履修ファイルを作成する。</li> <li>・子育て支援に必要な専門的能力や実践研究能力の向上を図る。</li> </ul>	<p>1 について</p> <p>計画に従い、順調に実施中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見や考えを主体的に述べられるように、授業の中でプレゼンをしたり、演習をしたりする機会を出来るだけ設け積極的に参加できるようにしている。</li> </ul> <p>・各実習先の実習担当者との意見交換会を持ち、コロナ感染拡大の中での実習のあり方と情報収集の把握に努めたことにより、今年度からは全体的に順調に実習を実施できている。</p> <p>・入学前のピアノの個人進度を把握しグループ分けをする。</p> <p>・改正した教育課程に合致した授業を展開していくため、デジタル化等の教育環境の充実を図り提供できるようにしている。</p> <p>・保育現場における子育て支援の実際を体験し地域の子育て支援センター的な役割を身につけられようにした。</p>	<p>1- (1) について</p> <p>紀要（年1回発行）への投稿、所属学会においての研究発表。</p> <p>1- (2) について</p> <p>介護福祉士専攻科については、募集停止中であるが、募集再開を期することとしている。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和4年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
	<p>(2) 介護福祉士専攻科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から学生募集を停止している。</li> </ul> <p>2 学生の募集活動に関する計画</p> <p>(1) 幼児教育科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月以降に内部高校生を対象に学校見学を開催する。</li> <li>・オープンキャンパス、学校訪問の回数・対象校を拡大する。</li> <li>・首都圏保育専門学校フェアに参加し、学生募集活動を推進するとともに学校の知名度を上げる。</li> <li>・28年度からスタートした外部WEB等を利用した学生募集の充実を図る。</li> <li>・学生募集に資するため、ホームページの充実を図る。</li> <li>・広告業者主催による外部高校においての上級学校説明会に積極的に参加し学生募集に力を入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質向上について新着任教員(非常勤含む)に求められる研究事項について共通理解が図られている。</li> </ul> <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部高校向けには実施又は準備中</li> <li>・オープンキャンパスは、予定通り実施又準備中だが、参加生徒は昨年より増加した。</li> <li>・首都圏保育専門学校フェアは、コロナ感染症対応を徹底し、実施又は準備中</li> <li>・資料請求は例年通りの請求があった。</li> <li>・ホームページ新着情報の充実を努めている。</li> <li>・広告業者主催による外部高校においての上級学校説明会も例年通り実施した。</li> </ul>	<p>2- (1) について</p> <p>特に学生募集について、定員の確保に向けた募集活動の強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパスは、他校の事例を参考にして、興味をひきつけるような内容を検討する。</li> <li>・昨年度よりAO入試を導入したことから、AO入試実施の周知の機会を増やすようにしたい。</li> <li>・ホームページの改修に伴い、魅力ある内容にして、情報発信の強化に努めたい。</li> </ul>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和4年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大卒、短大卒受験者に対応するため、履修単位の認定を検討する。</li> <li>(2) 介護福祉士専攻科</li> <li>・学生募集停止中</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>(1) 研修旅行の開催（幼児教育科・5月） 親睦を深めると共に 1、2 学年の交流を通して保育者としての学びの不安や悩みを解消する。 保育者になる為に、学生時代にどのような喜びか必要なのかを理解する</p> <p>(2) 講師会議の開催（5年3月予定）教育方針、教育運営の重点事項の周知徹底を図る。</p> <p>(3) 同窓会の開催（幼児教育科・10月）卒業生の社会的な活躍及び評価の把握を推進し親睦を図る。</p> <p>(4) 地域活動として子育て支援講座の開催（幼児教育科5月・7月・11月）地域と連携し協働しながら具対的な支援への理解を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討中</li> </ul> <p>3 について</p> <p>(1) コロナウィルス感染拡大の影響により実施せず。</p> <p>(2) 計画中</p> <p>(3) コロナウィルス感染拡大の影響により実施せず。</p> <p>(4) 5月、7月は実施せず。11月は検討中</p>	<p>3—(2) 各講師宛に講師会議用資料送付</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"><li>・本校の教育理念・目的・育成人材像については、具体的に簡潔に示しており、学生・教職員に周知徹底されている。学外にも学校案内、ホームページに記載して公表しており、分かりやすく、学校に対する信頼性の向上に寄与している。</li><li>・本校は、昭和 44 年に保母（現在は保育士）の養成機関として設立され、昭和 46 年からは幼稚園教員養成機関の指定を受けた。さらに、時代の要請に応えるべく、平成 14 年に介護福祉士専攻科を設置したが、同科については平成 27 年度から学生募集を停止している。</li><li>・本校のみならず私立校にとっての最も重要な課題である入学定員の確保については、出前授業、体験授業、オープンキャンパスの実施(学生によるオープンキャンパス広報委員の採用)、各種説明会の開催等に教職員全体で取り組んでいる。</li></ul>	本校の教育理念 <ul style="list-style-type: none"><li>・親切正直</li><li>・女子の職業教育</li></ul> 介護福祉士専攻科 <ul style="list-style-type: none"><li>・学生募集停止中</li></ul>

最終更新日付	2022 年 10 月 1 日	記載責任者	船田 鈴子
--------	-----------------	-------	-------

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	教育理念・目的を明確に定め、職業人としての保育士・幼稚園教諭及び介護福祉士を養成することとしている。	理念・目的は学則に明記し、学生便覧として配布し、また、育成人材像とともに学校案内・ホームページに記している。	平成 27 年度から介護福祉士専攻科の学生募集を一時停止している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・学生便覧</li> <li>・学校案内</li> <li>・ホームページ</li> </ul>
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	改正したカリキュラムに沿って授業を展開し保育者としての現代社会が求める職業人の育成の実現を図ることとしている。	保育者に対する社会の動向を把握し、カリキュラム編成会議及び全ての非常勤講師を含む講師会議で理念等の実現の方策を検討している。また、平成 14 年には介護福祉士専攻科を設立した。	認定こども園の特徴や動きに注視し、引き続き保育教諭に求められる資質・能力の向上を図ると共に社会人としての基礎力(コミュニケーション能力や主体性)を高める。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	学校の特色として人間性豊かで専門職として基本的な技術を備えた保育士、幼稚園教諭及び介護福祉士を養成することとしている。	教育理念である「親切正直」の下、充実したシラバスを策定し、教員の日々の教育活動に生かしている。	平成 27 年度から介護福祉士専攻科の学生募集を一時停止している。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	入学定員を確保し、毎年度充実した授業を実施し、社会のニーズに適合した優良な職業人を輩出させるため、中期的な計画を策定する必要がある。	少子化の影響で中期的な構想がたてにくい中で、学生募集に努めている。	入学定員の確保に向けて一層の努力が必要である。	



中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念・目的・育成人材像といった教育に必要な抽象的概念を明確に定め、分かりやすい言葉で内外に対し周知を図っており、専門学校等評価基準を満たしている。また、この概念を常にカリキュラム等に具体的に展開し、より充実を図ることに努めている。</p> <p>本校の特色は人間性豊かで専門職として基本的な知識と技術を備えた保育士、幼稚園教諭及び介護福祉士を養成することである。</p> <p>少子化の影響で中期的な見通しが立てにくい状況ではあるが、入学定員の確保に努めている。</p>	<p>本校の基本的な教育理念である「親切正直」と「女子の職業教育」は、本校の運営母体である学校法人が昭和13年に設立されて以来、一貫して堅持されており、本校に学ぶ学生、本校に奉職する教職員にとって、これらの教育理念は最も誇りに感じているものである。</p> <p>卒業生はそれぞれの就職先において、音楽教育や児童文化に精通し、明るく素直で礼儀正しく真面目で、向上心も高いという評価を受けている。</p> <p>介護福祉士専攻科の学生募集は一時停止している。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営は、おおむね適正に運営されている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校運営に関する諸規定は整備されている。</li><li>・毎年度事業計画を定め、PDCA サイクルに基づき適切に運営されている。</li><li>・学校の運営は法人の統制の下、組織的に行われている。</li><li>・人事考課・給与制度を整備しており、教員の確保・資質の向上を図っている。</li><li>・学校的意思決定システムは明確に確立されている。</li><li>・情報システム化などによる業務の効率化は概ね図られている。</li></ul>	特になし

最終更新日付	2022 年 10 月 1 日	記載責任者	野崎 能成
--------	-----------------	-------	-------

## 2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	教育理念・目的を体现すべく、理事会や学校長等の協議決定により、適切な運営に努めることとしている。	運営方針を定型的な文書として定めたものはないが、運営に関する方針は職員会議等を通じて適時的確に教職員に伝達している。また、学則の細則、各種委員会規程等の諸規定を整備し、教職員への徹底を図っている。	運営方針の明文化に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議議事録等</li> <li>規程集</li> <li>各種委員会編成表及び会議議事録</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針を定型的な文書としては定めていないが、理事長や学校長等の協議決定による運営方針や学則の細則などの変更については、職員会議等の場を通じて適時的確に教職員に伝えられている。また、各種諸規定は整備されている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	毎年度、事業計画を定め、適切な PDCA サイクルの実現を図ることとしている。	毎年度の事業計画において作成した計画を、事業報告において評価するなどして適切なフォローアップを図るとともに、中長期的な取組のために中期計画を作成した。	今後、中期計画と事業計画のすり合わせを行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年度の「事業計画・事業報告」</li> <li>・組織図</li> <li>・職務分掌表</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
事業計画が作成され、組織図、職務分掌表も作成されており、事業計画に沿って PDCA サイクルの下、適切に学校運営が行われている。課題として、中期計画と事業計画の整合性を図る必要がある。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	効率的な運営のため迅速かつ的確な意思決定の実現を図ることとしている。	意思決定機関としての理事会等が適正に機能している。	特になし	・理事会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	内部統制が的確に機能するよう、業務範囲、責任分担を明確に定めることとしている。	運営組織図等において、業務範囲・責任分担が明確にされている。	特になし	・運営組織図 ・職務分掌表 ・職員会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法に基づき、理事会・評議員会は適正に機能している。運営組織図は内部統制が的確に機能するよう明確に定められている。また、業務範囲と責任分担は明確にされている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	良質な教育環境を提供するため教員の確保・資質の向上を図ることとしている。	就業規則、給与規程等を整備している。また、年2回の人事考課で教職員の評価を行い、昇進・昇給に適切に反映させている。	良質な教員の確保・資質向上のため、教員の処遇向上とともに研修、研究体制の整備に更に務める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員研修計画</li> <li>・ 教員採用記録</li> <li>・ 教員調書</li> <li>・ 人事考課表</li> <li>・ 給与規程</li> <li>・ 就業規則</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事考課制度は整備され、また、採用制度・給与制度は整備されている。	

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学校内外の様々な事態に適切に対処するため、意思決定における権限・役割を明確にし、迅速な意思決定を図ることとしている。	制度化された理事会、評議員会及び職員会議等で適切に意思決定が行われている。 意思決定の範囲やプロセスについては寄付行為や就業規則に明確に定められている。 また、固定資産および物品調達に係る意思決定は、それぞれの規程に明確に定められている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄付行為</li> <li>・ 就業規則</li> <li>・ 組織規程</li> <li>・ 経理規程</li> <li>・ 固定資産及び物品調達規程</li> <li>・ 固定資産及び物品管理規定</li> <li>・ 旅費規程</li> <li>・ 職員会議議事録</li> <li>・ 起案文書</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムについては明確に確立されており、その階層・権限等も明確である。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	情報システム化等により業務の効率化を図る必要がある。	市販の教務システムを導入すれば、分散しているシステムが統合でき、さらに効率化するのであるが、費用を考慮すると当面、現行のシステムの改修で業務を遂行していく。	現行のシステムの改修を図っていく。	特になし

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業務運営に必要な情報システムは概ね図られている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------



## 基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育活動は概ね適正に運営されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科の教育課程は、資格及び幼稚園教員免許の取得及び業界の人材ニーズに適合して正しく定められている。</li> <li>・学科の教育目標・育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、資格・免許及び業界の人材ニーズレベルとして、また修業年限を考慮して、到達することが可能なレベルを、明確に定めている。</li> <li>・学科の教育課程は教育目的・目標達成に向け体系的に編成されており、外部の意見を適切に反映している。</li> <li>・キャリア教育に本格的に取り組んでいる。</li> <li>・授業評価の実施評価体制は整っている。</li> <li>・成績評価、修了認定の基準は明確になっている。</li> <li>・資格取得のための卒業までの指導体制は整っている。</li> <li>・資格要件を備えた教員を確保している。また、教員の能力開発の為の研修等に参加し資質向上に取り組んでおり、教員の組織体制も整備している。</li> <li>・ICT の教育環境(オンライン等)について実施出来るように体制を整備するようしていく。</li> <li>・本年度は新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑える教育活動への対策について検討し授業ができるように取り組む。</li> </ul>	

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	保育士資格及び幼稚園教員免許の取得が学科の最大の目標であるが、業界の人材ニーズを常に把握し、教育目標や育成人材像に反映させる教育課程を編成することとしている。	保育士資格及び幼稚園教員免許の取得に合致した改正教育課程を新たに編成し、それに即した教育活動を実践していると共に業界のニーズに適合する保育者を養成するよう努めている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・シラバス</li> <li>・学校案内</li> <li>・学生便覧</li> </ul>
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	修業年限以内で国家資格及び業界で必要とされるレベルを到達目標とする。	シラバス及び幼児教育科実習要項に修業年限を考慮して寛元の授業に関してのとうたつ目標や時間の確保は明確にし、学校案内等により公知されている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバス</li> <li>・幼児科実習要項</li> <li>・学生便覧</li> <li>・学校案内</li> <li>・学生に求められる社会人としての資質</li> </ul>
3-8-3 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う授業の進め方を実施する。	新型コロナウイルス感染症の発生を抑える適切な授業の実施を、既存の設備で実施する。	オンライン授業を試験的に実施し、広い教室の確保ができない学年においては、ビデオカメラを使用した2教室で分散して授業を実施。	双方向オンライン授業を実施したかったが、現行の機器、学生の通信環境を踏まえると実施は難しかった。今後は実施できるよう体制を整えたい。	

## 中項目総括

各学科の教育課程は、保育士資格及び幼稚園教員免許の取得及び業界の人材ニーズに適合して正しく定められている。業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。

各学科の教育目標等を構成する知識、技術、人間性等は国家資格及び業界の人材ニーズレベル等に到達することを目標として、明確に定められている。また、学校関係者評価委員会において意見の聴取や検討を行い反映している。今後は ICT の教育環境の改善により一層図り、学生が ICT の特性や使用方法を理解し活用できるように図る。

本校の卒業生は、就職先において専門知識や技術に精通し、明るく元気で礼儀正しく真面目で人材ニーズに良く合致しているという高い評価を受けている。

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育目的・目標達成に向けた教育課程を十分な内容で体系的に編成することとしている。	新たに改正した教育課程は、教育目的・目標達成に向け必要な時間数、授業形態等を勘案した十分な内容となっており、かつ体系的に編成されている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバス</li> <li>・学生便覧</li> </ul>
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程について、業界関係者や卒業生の意見を聴取することは必要なことと認識している。	教育実習、保育実習等の巡回を通じて得られる外部の意見を適切に反映している。また、卒業生や実習終了後の学生からアンケートを取って、その意見を反映させている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・学校案内</li> <li>・シラバス</li> <li>・実習要項及び実習の手引き</li> </ul>
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	職業人になるという自覚、態度を涵養し、コミュニケーションや問題解決などの能力を育成することは専門学校に求められていると認識している。	外部の幼稚園等での実習と合わせ、問題解決能力を育成するために、独立した科目としてゼミナール形式の授業を導入している。資格取得への意識付けを図り、個々の学生の状態を把握した上で対応している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職指導の授業</li> <li>・学生便覧</li> <li>・シラバス</li> <li>・実習要項及び実習の手引き</li> <li>・学生に求められる社会人としての資質</li> </ul>
3-9-4 授業評価を実施しているか	授業評価は教育システムの確立、見直し、また教員の資質向上のために有用なものと認識している。	学生に対し、記名又は無記名で授業評価アンケート等を実施している。また、毎年、講師会議を開催するとともに、シラバスやコマシラバスを検討し把握・評価している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケート</li> <li>・シラバス</li> <li>・コマシラバス</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程は教育目的・目標達成に向けた十分な内容でかつ体系的に編成されおり、外部の意見も適切に反映されている。</p> <p>外部施設での実習と合わせ、ゼミナール形式の授業を行うなどのキャリア教育を実施している。</p> <p>学生による授業評価を実施している。また、授業内容等について把握・評価する体制も、概ね整っている。</p>	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	そのエ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	明確に定められた評価基準にしたがって、成績を適正に評価し、卒業認定を行うべきである。	成績評価、卒業認定の基準は学則に明記されている。また、評価・認定に当たっては、内部規定に基づき適正に行っている。	成績に反映する教科担当教員のスキルアップ（評価項目、評価指標の考え方等についての理解）を図るために教員研修を実施し、その適切性の強化により一層努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・学籍簿</li> <li>・成績判定規則</li> <li>・進級会議資料</li> <li>・卒業認定会議資料</li> </ul>
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	保育士資格及び幼稚園教員免許の取得を目的とする本校の特質に鑑み、特に外部のコンテスト等への参加を推奨するものではない。	学内での発表、実習における技術成果については、学生毎に明確に把握している。外部のコンテスト等で評価された事例は、これまでのところ特になし。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学籍簿</li> <li>・実習ノート</li> <li>・実習巡回記録</li> <li>・実習報告書</li> <li>・実習後の自己評価表</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・修了認定の基準は明確になっている。また、評価・認定に当たっては教員の共通理解を図り、内部規定に基づき適正に行っている。学生の学内での発表、実習における技術成果については学生毎に明確に把握している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	保育士及び幼稚園教諭（2種）免許を取得するための専門学校として、教育課程上で明確に位置付ける必要がある。	学則、学生便覧、シラバス及び学校案内に明記されている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・学生便覧</li> <li>・学校案内</li> <li>・ホームページ</li> <li>・シラバス</li> </ul>
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	教育課程は卒業即ち国家資格の取得を目的とするものでなければならない。	卒業までの指導体制が確立されている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・学生便覧</li> <li>・学籍簿</li> <li>・シラバス</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保育士及び幼稚園教諭（2種）免許を取得するための専門学校として、目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に定められており、卒業までの指導体制が確立されている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	専門学校の教員に求められる専門性、人間性、教授力、必要資格等の要件を備えた教員を確保することとしている。	専任教員、非常勤講師とも、教員として求められている要件を備えた教員を確保している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に関する調書</li> <li>・職員業務分担表</li> </ul>
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の専門性及びその鮮度を確保すること、また、研究・研修の重要性を認識している。	<p>専門領域、業界についての研修会に参加するなどして、教授力の向上及び専門性の陳腐化を防止している。</p> <p>また、研究・研修については、主に学外における学会、研究会等に参加し、発表を行ったり、専門雑誌への論文寄稿を奨励するとともに、本校の研究紀要への投稿を行わせたり、他の保育者養成機関等の教員と共同研究し、授業で使用する教科書（資料）を作成したりしている。さらに、学内研修として、教授力を向上させるために各授業の実施状況を把握し、検討会を開いて個々の改善点を明確にし伝達している。</p>	研修制度（研究計画・学内研修会・学会における研究発表・研究費支給・研究室・研究日・研修休暇等）の更なる充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に関する調書</li> <li>・授業評価報告書</li> <li>・学会、セミナー、研修等の参加報告書</li> <li>・紀要</li> <li>・教科書</li> </ul>



小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員組織の体制化及び教職員相互間の協業が重要であると認識している。	校内業務分担を明確に定めている。また、各種委員会規則を定め、教務の組織化を図っている。さらに、教員によるミーティングを毎日開催するほか、各授業担当者による「講師会議」を実施するなどして協業体制を確保している。	教職員組織の活動をより活性化させるための見直しを行い、より充実した組織として活性化を図っている。常に工夫、改善の意識を持って行動する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務分担表</li> <li>・講師会議報告書</li> <li>・委員会規則などの内部規則</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を備えた教員を確保している。学内での教員に対する研修、勉強会等を行うとともに、学会、研究会等への参加、発表や論文の作成寄稿を奨励したり、研究紀要を発行したりするなどして、専門性、教授力等の教員の資質向上を図っている。また、教員組織の体制化を図っている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の就職率は 100%となっている。また、卒業生の資格・免許の取得率は 100%である。</p> <p>卒業生の就職先における評価は極めて高い状況である。</p>	<p>・幼児教育科を卒業した学生は、すべて保育士及び幼稚園教諭（2種）の資格・免許を取得する。</p>

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職情報を明確に把握し、適切な対策を講じる必要がある。	卒業生は保育士資格及び幼稚園教員免許を取得し、直ちに職業人として社会に貢献することができることから、幼児教育科の就職率は、100%となっている。キャリア教育の時間を設けたり、就職活動報告書を学生に書かせたりするなどして、常に教員が学生の活動状況を把握している。また、卒業生による就職体験等を聞く機会を設けている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路調査票</li> <li>・就職先一覧</li> <li>・就職内定率データ</li> <li>・就職試験報告書</li> <li>・求人票</li> <li>・採用試験対策本</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の就職率は100%となっている。また、就職成果とその推移に関する情報を明確に把握している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	卒業生には国家資格・免許が授与されることとなっている。	卒業生は全員、国家資格・免許を取得している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士登録申請者リスト</li> <li>・教育職員免許大学一括申請授与リスト</li> <li>・学則及び細則</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生は全員、国家資格・免許を取得している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生に対する評価は、そのまま学校としての評価に直結するものであると認識している。また、卒業生の活動を把握し、紹介することは、学校、学生にとって有用であると認識している。	卒業生に対する評価は学校に対する評価、即ち求人状況に反映されると思料され、ここ数年の求人件数、求人率ともに高い水準で推移している。 卒業後にアンケートの収集を行うなどして、学生の活動の把握に努めている。卒業生は研修会で発表するなどして高い評価を受けていることを把握している。 専門学校を紹介する雑誌に卒業生の活躍事例を掲載させたり、学校案内に卒業生のメッセージを掲載したりしている。	アンケートの中で卒業生の就職満足度について聞いた結果、転職したい人が半数近くいた。理由として人間関係のつまずきが上位に上がっていた。また、以前見られなかった体調不良が上げられるようになったことも注視すべきではないかと思われた。 これらのことから求められる資質として「コミュニケーション能力」などの育成が保育士養成校としてますます望まことを確認したので、実習指導の授業の一部をアクティブラーニングの視点から考え、実施することに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度毎求人状況資料</li> <li>・卒業後アンケート</li> <li>・実習巡回記録</li> <li>・学校案内</li> <li>・専門学校紹介誌</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の社会的評価の把握に努めている中、多くの学生が保育者として社会人として肯定的な評価を得ている。求人状況は高水準で推移している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援の体制は概ね整備されており、有効に機能している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職・進学指導のため、就職担当の教員を指定して就職指導を行う体制を整備している。就職・進学指導の授業を設置するほか、就職に関する説明会、個別相談、具体的指導等を随時行っている。就職率は100%となっている。</li> <li>・学生との面談を積極的に行うなどして退学率の低減に努めている。</li> <li>・学生相談室を設置し、学生からの様々な相談に応じている。</li> <li>・外国人留学生はいない。</li> <li>・学生への奨学金相談、学費の減免・分納等の経済的支援体制を整備している。</li> <li>・学生の健康管理を担う体制は整っており、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク配布・日々の健康チェック表の管理等有効に機能している。</li> <li>・課外活動として、障害者施設などへのボランティア活動を支援しているが本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から積極的な支援を控えている。</li> <li>・法人設立の学生寮を利用できる。</li> <li>・保護者とは適時適切に連携し、必要に応じ面談も実施している。</li> <li>・同窓会を組織するほか、卒後ゼミ等、卒業生への支援体制を整備している。</li> <li>・産学連携の実現に努めている。</li> <li>・新卒者・社会人入学者への入学相談、進路相談等の強化を図り適切に実施している。</li> <li>・学校行事など(記念祭、学園祭、OC)などは、学生が主体となって企画運営出来るように支援し、行動力、協調性を高めるようにしている。</li> <li>・ホームページの充実を促進し、学校のPRを積極的に発信する。</li> </ul>	<p>特になし</p>

最終更新日付

2022年10月1日

記載責任者

船田 鈴子

## 5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生一人一人に対し、きめ細かい就職指導を行えるよう体制を整備することが必要であると認識している。	小規模校であることから就職部や就職相談室は設置せず、就職担当教員を指定し、また授業として1コマ設定するなどして就職指導を行う体制を整備している。また、就職に関する説明会としてオリエンテーションやキャリアガイダンス及び個別相談等を随時実施している。その結果、就職希望者は100%就職している。 さらに、外部エリア毎の就職相談会や求人フェア等への参加も勧めている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営組織図</li> <li>・職務分掌表</li> <li>・オリエンテーション予定表</li> <li>・キャリアガイダンスに関する資料</li> <li>・近圏エリア内就職フェア参加案内パンフレット</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生数の少ない学校であることから、就職・進学指導の相談室などは設けずに就職担当の教員を指定し、また授業として1コマ設定するなどしている。説明会、キャリアガイダンス等及び個別相談は随時実施するなどしている。その結果、就職希望者は100%就職している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	学校として可能な限り入学者全員を卒業させるべく努力することとし、そのために学生に対する相談体制の整備に努める必要がある。	担任と学生、副校長・担任と学生、及び保護者との面談、学生相談室の利用等を積極的に行い、学習上、経済上の問題の解決を図るなどの支援体制を強化し、退学者の低減に努めている。	今後も退学者が少なくなるよう学校全体で連携を密にし努めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退学者及び休学者推移記録</li> <li>・面談記録</li> <li>・職員会議議事録</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生・保護者との面談等を積極的に行うなど、可能な限りの支援体制を強化し退学者の低減に努めている。</p> <p>一人の学生に対して全教職員という多様な立場からの支援体制で臨んでいる。</p>	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------



## 5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	学生が抱える諸問題の解決に向けた学生相談体制の必要性を認識している。	クラス担任制をとるなど、学生から個別の相談に応じる体制を整備している。また、学生対応アドバイザー及び事務長等が学生からの個別の相談に応じている。さらに、学生相談室を設置し、カウンセリング専門の学校心理士を配置して学生からの様々な相談に応じている。	特になし	・運営相談図
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	必要に応じ整備することとする。	これまでに留学生が在籍したことはない。	特になし	特になし

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
クラス担任制の下、担任教員や学生対応のアドバイザー及び事務長等が個別の相談に応じる体制を整備している。また、学生相談室を設置し学校心理士が学生からの相談に応じている。 これまでに留学生が在籍したことはない。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生を経済的に支援するため奨学金制度、学費の減免、分納制度が必要であると認識している。	学生が日本学生支援機構の奨学金、保育士修学資金、さらに東京都育英資金等を利用する環境を整えている。 また、国の修学支援制度の対象校であることから、支援対象の学生には授業料の減免等の手続きを実施している。 なお、本学園独自の奨学金制度がある。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種奨学金案内</li> <li>採用実績資料</li> <li>学則（分納制度）</li> <li>入学金減免規程</li> <li>学園独自奨学金規程</li> </ul>
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学生の心と体の健康管理を支援する制度が必要であると認識している。	毎年度定期的に健康診断を実施している。 学生の健康管理に専任教員が常に留意している。	保健室の担当教員が不在のため補充に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断スケジュール</li> <li>人事記録</li> <li>健康チェック個人票</li> </ul>
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	遠隔地出身者のため、学生寮の提供は必要なことと認識している。	法人設立の学生寮（月下寮）を利用できる。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>月下寮案内</li> </ul>
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	教育の一環として地域社会、保育園等におけるボランティア活動をあつ旋することとしている。	クラブ活動は行っていないが、障害者施設・保育園等へのボランティア活動を支援しており、高い評価を受けている。	本年も新型コロナウイルス感染症拡大のため、施設からのボランティア依頼中止等の連絡が入ったりすることなどから、積極的な支援は控えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動予定表</li> <li>同報告書</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
<p>学生を経済的に支援するため、学費の減免、分納制度及び奨学金制度の利用環境が整備されており、有効に機能している。</p> <p>毎年定期的に健康診断を実施している。学生の健康管理に常に留意している。また、法人設立の学生寮（月下寮）を利用できる。</p> <p>教育の一環として、障害者施設、保育園等へのボランティア活動を支援しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を懸念して積極的な支援は行っていない。</p>	<p>保育士・幼稚園教諭の資格・免許取得を目的とする学校なので、授業時間数が多く、課外活動の時間は確保しにくい。</p>		

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	学業の継続、生活指導の面で必要に応じ保護者との適切な連携を確保することが重要である。	学生の保護者の住所、電話番号、緊急連絡先を把握している。また、保護者との連絡及び面接については地道な連携を図り学生指導を実施し、適宜記録に残している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生、保護者の住所等一覧</li> <li>・連絡メモ</li> <li>・面接ノート</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者とは適時適切に連携し、必要に応じて面接も実施している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生に対する適切なフォローアップは学校に対する信頼感を向上させ、ひいては学校の評価を高めると考える。	卒業生に対するフォローアップは必要に応じ実施している。また、同窓会を組織し、その規約、名簿、開催記録を作成保有している。	同窓会活動を更に充実させるよう努める。  ・卒業生のフォローアップを定期的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会規約</li> <li>・同窓会名簿</li> <li>・同窓会案内及会計記録</li> </ul>
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	学会、研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行うことは、重要であると認識している。	保育学会や保育所・幼稚園の教員等との研究会や協議会等に参加し、情報交換を行う等、連携協力を努めている。	卒業後の再教育プログラムの開発が課題となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会参加報告書</li> <li>・研究会等報告書</li> </ul>
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人経験者の入学は学生全体の学習環境の向上に寄与するものである。	社会人を対象として入学相談を行うなど、応募者の増加に努めている。また、進路相談においても、就職先のあっ旋、確保に配慮している。	入学前の履修に関する単位互換の認定について検討を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学籍簿</li> <li>・面接ノート</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生へのフォローアップは必要に応じ実施している。また、同窓会を定期的に毎年開催しているが、更に充実したものとするよう努めている。関連業界との研修会等に積極的に参加し産学連携に努めている。社会人入学者への入学相談、進路相談等を適時適切に実施している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育環境は良く整備されている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設・設備・教育用具等は設置基準、関係法令等に適合し、教育上の必要性に対応できるように整備されている。また適切なメンテナンス体制、更新計画が整備されている。</li><li>・学外実習について十分な教育及び支援体制を整備している。</li><li>・防災に対する体制は整備されており、定期的に防災訓練を実施している。</li><li>・図書室においては、子どものための児童文化財(絵本、紙芝居等)及び保育関係専門書の補充に努めている。</li></ul>	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	学校の施設・設備・教育用具等は、学生が快適に学習でき、学科の目標を達成するに十分なものでなければならない。	学校の施設・設備・教育用具等は設置基準や関係法令に適合し、学科の目標を達成するに適切かつ十分なものとなっている。 適切なメンテナンス体制を整備しており、施設・設備等はいずれも有効に機能している。 施設・設備等は更新計画を立て、適期に更新されており、教室、図書室、実習室、学生ホール、学生寮等が適切に整備されている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定資産台帳</li> <li>・物品等管理簿</li> <li>・ビル衛生管理法等に基づく管理簿</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備等は、設置基準や関係法令に適合し、学科の目的を達成できるよう適切かつ十分に整備されている。また、適切なメンテナンス体制・更新計画が整備されている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備する必要がある。また、学外実習の実績を把握し、教育効果を確認することが必要である。	保育所、幼稚園、保育以外の児童福祉施設等の外部の関係機関と十分連携して、学外実習を実施し、その実績を的確に把握し、教育効果や実習中の養成校側の支援のあり方についての検討会を開催している。	インターンシップ制は、職業とのミスマッチを軽減するために注目すべき制度だが、本校の実習が多い現状を踏まえると現状では実施しにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設一覧表</li> <li>・実習巡回報告書</li> <li>・実習委員会会議録</li> <li>・学生による実習報告書</li> <li>・実習園からの評価票</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習については、外部機関と十分に連携し行っている。また、その教育効果についても十分確認している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------



## 6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	学校は、防災責任者の指定、防災避難訓練の実施など、防災体制を整備し、適切に実施しなければならない。	防災計画、マニュアル等を整備し、防災避難訓練を定期的に行っている。また、施設は耐震性となっており、法令に基づいた防災施設・設備の点検整備がなされている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校防災組織表</li> <li>避難訓練実施要綱</li> </ul>
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学校の生命と学校財産を守るための安全管理体制の構築が重要である。	<p>外からの加害者の侵入を防止するため、出入口の制限を強化し、夜間防犯セキュリティの確保を整備している。</p> <p>学生の学内での事故の発生を未然に防止するため、危険物の管理点検の責任者を定め、適切に行っている。</p> <p>実習担当者を指定し、学外実習における安全管理に努めている。</p>	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>セコム委託契約</li> <li>学校分担表</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災計画、マニュアル等を整備し、防災避難訓練を定期的実施している。学内外での事故発生を未然に防止するため、危険物の管理・点検及び実習時等の安全管理に努めている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の募集と受入れは、適正に実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は学校の事実を正確に伝えており、志望者等の立場に立った分かりやすいものとなっている。</li> <li>・学生募集活動において、新たに高校訪問(OC 参加履歴や訪問校の特徴、特色などを鑑み)の対象校を増やし訪問している。訪問を断られた場合は資料等を郵送している。</li> <li>・AO 入試を一昨年度より実施している。</li> <li>・入学案内のパンフレットが高校性から見た時、保育士資格と幼免が同時に取得できる情報提供と共に、楽しく魅力的な部分がアピール出来る内容にしていく。</li> <li>・入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき厳正に実施している。また、その実績を正確に把握・記録し、授業に反映・活用している。</li> <li>・学納金は妥当なものとなっている。入学辞退者に対する授業料等の返還は適正に取り扱われている。</li> </ul>	<p>特になし</p>

最終更新日付	2022 年 10 月 1 日	記載責任者	野崎 能成
--------	-----------------	-------	-------

## 7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	学生募集においては、本校教育の特質である保育士資格及び幼稚園教員免許の取得、就職率等の情報提供を行うこととしている。	東京都及び近隣の県内の高等学校に学校案内等を定期的に送付したり、学校訪問を行ったり、ホームページ及び各種雑誌に掲載したりして、情報提供に努めている。また、オープンキャンパス等において参加者に説明する際に、情報を正確に伝えている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内</li> <li>・ホームページ</li> <li>・各種雑誌</li> <li>・学校訪問日程表及び報告書</li> <li>・「首都圏保育専門学校フェア」パンフレット等</li> </ul>
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	募集広報は事実を正確に伝えるもので、かつ、志望者等の立場に立った分かりやすいものでなければならない。また、志望者等からの問い合わせ、体験入学等での質問や相談に対し、適切な対応ができるよう体制を整備する必要がある。	<p>学校案内、ホームページ、学生募集要項において事実を正確に伝えている。出願受付開始時期は適切に守っている。</p> <p>学校案内等は資料請求者や保護者からわかりやすいと評価を得ている。</p> <p>問い合わせ・相談に対応する教職員の体制がとられている。また、在学生による学内生活案内も随時行っている。</p>	引き続き、オープンキャンパス、学校見学の参加者を増やすとともに、学校訪問や「首都圏保育専門学校フェア」に参加するなどの募集活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内</li> <li>・ホームページ</li> <li>・学生募集要項</li> <li>・奨学金案内</li> <li>・オープンキャンパス日程表</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動は学校の実情を正確に伝えており、また、志望者等の立場に立った分かりやすいものとなっている。募集定員を満たすよう、引き続き各種の募集活動を行っていくこととしている。</p> <p>学生募集において、国家資格等取得実績や就職率等の情報を正確に伝えている。</p>	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考は適正かつ公平な基準に基づき、試験を実施することとしている。	入学選考は、作文と面接により厳正に実施している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生募集要項</li> <li>・ 学校案内</li> <li>・ ホームページ</li> <li>・ 入学選考基準表</li> </ul>
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績は正確に把握・記録し、学生募集や学科編成の資料にするなどの必要がある。	入学願書、身体検査書、推薦書、卒業見込書、成績証明書等の情報を正確に把握・記録している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学願書受付簿</li> <li>・ 面接記録票</li> <li>・ 合格名簿</li> <li>・ 入学者名簿</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、適正、公平な基準に基づき厳正に実施している。また、その実績を正確に把握・記録し、授業に反映・活用している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金は経費内容に対応し、総合的に見て妥当な水準とする必要がある。	学納金は経費内容を基に適正に算定したものとなっており、また、同業種の専門学校に比較しても平均的な数値であり、妥当なものとなっている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・学生募集要項</li> </ul>
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者に対する授業料等の返還については、平成 18 年の文部科学省通知の趣旨に沿って、処理されることが必要である。	入学辞退者に対する授業料等の返還については、学生募集要項に明記し、適正に取り扱われている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集要項</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は妥当なものとなっている。入学辞退者に対する授業料の返還は適正に取り扱われている。	特になし

最終更新日付	2022 年 10 月 1 日	記載責任者	野崎 能成
--------	-----------------	-------	-------

## 基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>財務基盤は安定したものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主要な財務数値に関する財務分析を行い把握している。</li><li>・年度予算は教育目標に照らして有効かつ妥当なものとなっている。 また、予算は年度事業計画、経理規程に従って適正に執行されている。</li><li>・財務について会計監査は適切に行われている。</li><li>・財務情報は法人のホームページ等で法人全体の情報が公開されている。</li></ul>	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	学校運営上、財務基盤の安定は重要なものと考えている。	学園全体の財務基盤は安定したものとなっているが、学生数の減少により授業料収入が減少していることは、学校の運営に今後支障を来すこととなる。	学生数の確保に向けた取り組みはもちろんだが、収入に見合った費用の見直しの検討を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年度予算書</li> <li>決算書</li> </ul>
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	主要な財務数値の動静を常に把握しておく必要がある。	毎年度の予算書・決算書等により財務の分析を行ない把握している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年度予算書</li> <li>決算書</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
主要な財務数値に関する財務分析を行い把握している。学園全体の財務基盤は安定したものとなっているが、学校単体の収支の見直しが必要になる。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	毎年度、適正な予算・収支計画を作成することとしている。	年度予算は、教育目標に照らして有効かつ妥当なものとなっている。適切な予算配分となっており、不要な投資等はない。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算書</li> <li>・ 決算書</li> </ul>
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算は計画及び経理規程に従って適正に執行されなければならない。	予算は年度事業計画、経理規程に従って適正に執行されている。決算書、伝票、出納帳により予算執行状況は把握している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決裁書</li> <li>・ 伝票</li> <li>・ 出納帳</li> <li>・ 経理規程</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度予算は、教育目標に照らして有効かつ妥当なものとなっている。また、予算は年度事業計画、経理規程に従って適正に執行されている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------



## 8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	監事監査、公認会計士監査は適切に機能しなければならない。	私立学校法、私立学校振興助成法等に基づき、監事監査、公認会計士監査が適切に行われている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事の監査報告</li> <li>・ 公認会計士の監査報告</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監事監査、公認会計士監査が適切に行われている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務情報の公開が重要であると認識している。	財政情報はホームページ等で法人全体の情報が公開されている。	特になし	・ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報はホームページ等で法人全体の情報が公開されている。	

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令等は、適切に遵守している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法令、設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っている。</li><li>・個人情報保護方針を制定し、対策をとっている。</li><li>・マイナンバーは適切に取得・管理している。</li><li>・自己点検、自己評価を定期的実施し、報告書を取りまとめ、ホームページに公表している。学校関係者評価は、2019年度から実施し、報告書を取りまとめ報告している。</li><li>・教育情報は学校案内、ホームページ等により広く社会に公開している。</li></ul>	

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	法令や設置基準等を遵守することとしている。	法令等を遵守した教育課程や教育施設を備え、学校運営に必要な規則等を整備して適正な学校運営を行っている。 教職員に対しては、職員会議等において、また学生に対してはHR、学内掲示等において周知徹底を図っている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規程集</li> <li>・教育課程</li> <li>・シラバス</li> <li>・固定資産台帳</li> <li>・職員会議議事録</li> <li>・学内掲示物</li> </ul>

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っている。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	学校は、志願者、学生、卒業生及び教職員等について保有する個人情報を個人情報保護法等に則って適切に処理することとしている、	個人情報保護方針を制定するとともに、①個人情報に関する書類は鍵のかかる書棚に保管し、②不要な書類はシュレッダーにかけ、③情報機器に関してはセキュリティソフト・ウイルス対策ソフトを導入するなど、その管理に万全を期している。 教職員・学生に対して、各種の機会を捉えて個人情報保護の啓発及び周知徹底を図っている。 マイナンバー制度の実施に伴い、マイナンバーの取得・管理について取扱要領を定め適切に取り扱っている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護方針</li> <li>個人情報保護法</li> <li>職員会議議事録</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護方針を制定し対策を取っている。また、教職員・学生に対して個人情報保護の啓発活動を行っている。マイナンバーは適切に取得・管理している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己点検・自己評価を定期的 に実施し、諸活動の改革、改善 を行う必要があると認識して いる。	自己評価の実施体制を整備 し、自己点検・自己評価を定期 的に実施している。	特になし	・自己点検・自己評価規則 ・自己評価報告書
9-34-2 自己評価結果を 公表しているか	自己評価結果を取りまとめ、 社会に公表する必要がある。	自己評価結果を報告書に取り まとめ、ホームページで公表 している。	特になし	・自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価 の実施体制を整備し、 評価を行っているか	関係業界との連携により、学 校関係者評価を実施し、その結 果に基づく学校改善に取組む 必要がある。	2019 年度より学校関係者評 価を実施している。	特になし	・学校評価実施規程
9-34-4 学校関係者評価 結果を公表しているか	評価結果を取りまとめ、社会 に公表する必要がある。	学校関係者評価の評価結果 については、評価報告書として ホームページに公表している。	特になし	・学校関係者評価報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価を定期的 に実施している。評価結果を 報告書に取りまとめ、ホーム ページに公表している。学校 関係者評価は、2019 年度 より実施している。	特になし

最終更新日付	2022 年 10 月 1 日	記載責任者	野崎 能成
--------	-----------------	-------	-------

## 9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報を、学生、保護者、関係業界等に対し広く公開することが重要である。	学校の教育情報を学校案内、ホームページ等により公開している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内</li> <li>・ホームページ</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育情報は学校案内、ホームページ等により公開している。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を実施している。留学生の積極的な受け入れは考えていない。学生ボランティア活動は奨励・支援し、その活動状況も把握している。</p>	

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	野崎 能成
--------	------------	-------	-------



## 10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	社会人を対象とした生涯学習事業の有用性は認識している。また、学校及び学生のために、地域との良い信頼関係を醸成する必要がある。	地域住民を対象とした子育て支援講座の開催を増やし学生主体の講座を実践するなどして、学校の施設・設備を解放した活動を行っている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援講座チラシ</li> <li>講座用配布資料</li> <li>子育てに役立つ手作りテキストを配布</li> </ul>
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	国家資格取得を目的とする本校の特質上、留学生の積極的受入れは考えていない。	留学生は在籍していない。	特になし	特になし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域との連携・交流は図っている。</p> <p>留学生は在籍していない。</p> <p>引き続き学校の教育資源や施設を活用した地域交流を学生に働きかけ、できることから手掛けていきたい。</p>	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------

## 10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	学生にボランティア活動の意義を伝え、奨励・支援することとしている。	幼児教育科の学生が、障害者施設、幼稚園、保育所でボランティア活動を行っている。また、ボランティア担当の専任教員を配置している。	本年も新型コロナウイルス感染症拡大のため、施設からのボランティア依頼中止等の連絡が入ったりすることなどから、積極的な支援は控えてい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の案内</li> <li>・ボランティア活動状況簿</li> <li>・同報告書</li> </ul>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生のボランティア活動は奨励・支援しており、その活動状況も把握している。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から積極的な取り組みはしていない。	特になし

最終更新日付	2022年10月1日	記載責任者	船田 鈴子
--------	------------	-------	-------